

「しんかい2000」潜航記録一覧表（2002年）

Dive List for Shinkai 2000 in 2002

通算 潜航	潜航 年月日	潜航地点	着底 深度	潜航観察者	所 属	潜 航 目 的
1328	2002年 3月20日			上原 篤	三菱重工神戸造船所	沈降試験実施要領に基づき、 各機器の作動試験を行った。
1329	3月21日	35°00.23'N 139°13.59'E	1201m	近藤 友栄	日本海洋事業（株）	海上試験方案に基づき、 各機器の作動確認を行った。
1330	3月22日	35°00.80'N 139°21.70'E	1429m	俵 経	日本海洋事業（株）	海上試験方案に基づき、 各機器の作動確認を行った。
1331	3月25日	34°43.30'N 138°34.82'E	1970m	菊谷 茂	日本海洋事業（株）	海上試験方案に基づき、 各機器の作動確認を行った。
1332	3月26日	34°43.30'N 138°34.82'E	1971m	大野 芳生	日本海洋事業（株）	各機器の作動が、 良好であることを確認した。
1333	4月1日	35°00.85'N 139°21.70'E	1447m	千葉 和宏	日本海洋事業（株）	海底でのマルチ操作訓練・航走訓練及び中 層生物をターゲットとした操船訓練を行った。
1334	4月2日	35°00.23'N 139°13.59'E	1162m	大野 芳生	日本海洋事業（株）	中層にて生物の観察及び採集訓練を行った。
1335	4月5日	34°55.00'N 138°39.00'E	1526m	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	中層・近底層の生物観察及び採集訓練を 行った。
1336	4月6日	34°40.40'N 138°41.70'E	531m	三宅 裕志	海洋科学技術センター	中層・近底層の生物観察及び採集訓練を 行った。
1337	4月7日	34°43.30'N 138°34.82'E	1970m	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	中層・近底層の生物観察及び採集訓練を 行った。
1338	4月9日	35°00.95'N 139°13.50'E	856m	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	中層・近底層の生物観察及び採集訓練を 行った。
1339	4月10日	35°00.85'N 139°21.70'E	1449m	中塚 武	北海道大学	現場測定装置設置・回収及び採水・採泥を 行った。
1340	4月11日	35°00.85'N 139°22.36'E		D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	中層・近底層の生物観察及び採集を行った。
1341	4月12日	35°00.85'N 139°21.70'E	1450m	北里 洋	海洋科学技術センター	観察しながら航走し、現場測定器の 回収及び柱状採泥を行った。
1342	4月22日	27°47.48'N 126°53.90'E	1050m	藤岡換太郎	海洋科学技術センター	航走しながら観察し、採水・採泥・生物採 集及びSAHFの設置を行った。
1343	4月23日	27°47.50'N 126°54.00'E	1030m	高井 研	海洋科学技術センター	航走しながら観察し採水及びSAHFの 設置を行った。
1344	4月24日	27°47.50'N 126°54.00'E	997m	千葉 仁	岡山大学	観察しながら航走し、採水及びチムニーの 採取を行った。
1345	4月26日	27°47.50'N 126°54.00'E	1040m	高井 研	海洋科学技術センター	観察しながら航走し、自己記録式温度計付 現場培養装置の設置及び採水を行った。
1346	4月27日	27°33.00'N 126°58.00'E	1390m	土居 克実	九州大学	観察しながら航走し、採水及び生物の サンプリングを行った。
1347	4月30日	27°47.50'N 126°54.00'E	1020m	稲垣 史生	海洋科学技術センター	観察しながら航走し、自己記録式温度計付 現場培養装置の回収及び、採水を行った。
1348	5月1日	27°47.50'N 126°54.00'E	1052m	平山 仙子	海洋科学技術センター	観察しながら航走し、採水・採泥及び生物 の採集を行った。
1349	5月2日	27°33.00'N 126°58.00'E	1393m	布浦 拓郎	海洋科学技術センター	観察しながら航走し、採水・採泥及び生物 の採集を行った。
1350	5月14日	27°47.50'N 126°54.00'E	1017m	渡慶次陸範	九州大学	観察しながら航走し、生物及び岩石の採集 を行った。

通算 潜航	潜航 年月日	潜航地点	着底 深度	潜航観察者	所 属	潜航目的
1351	5月15日	27°33.00'N 126°58.00'E	1376m	渡慶次陸範	九州大学	観察しながら航走し、生物の観察及び採集を行った。
1352	5月27日	24°51.55'N 123°50.50'E	1523m	土田 真二	海洋科学技術センター	観察しながら航走し、生物の観察及び採集を行った。
1353	5月28日	24°51.50'N 123°50.50'E	1523m	藤原 義弘	海洋科学技術センター	観察しながら航走し、化学進化セット及び デフュージョンチャンバーの設置・生物採集を行った。
1354	5月29日	24°51.50'N 123°50.50'E	1523m	加藤 憲二	静岡大学	航走しながら観察し、放流ネット等の設置、採水・採泥・生物採集及び岩石採取を行った。
1355	6月1日	24°08.00'N 124°11.50'E	652m	藤倉 克則	海洋科学技術センター	観察しながら航走し、生物の観察及び採集を行った。
1356	6月2日	24°08.00'N 124°11.50'E	637m	溝田 智俊	岩手大学	観察しながら航走し、放流ネット・デフュージョン チャンバーの設置及び採水・生物採集を行った。
1357	6月3日	24°08.00'N 124°11.50'E	644m	大越 健嗣	石巻専修大学	観察しながら航走し、放流ネットの 設置及び採水・生物採集を行った。
1358	6月5日	24°51.50'N 123°50.50'E	1524m	藤倉 克則	海洋科学技術センター	観察しながら航走し、採水及び生物採集を 行った。
1359	6月6日	24°51.50'N 123°50.50'E	1522m	山中 寿朗	九州大学	観察しながら航走し、放流ネットの設置・ 採水及び生物採集を行った。
1360	6月7日	24°08.00'N 124°11.50'E	642m	中山 典子	北海道大学	観察しながら航走し、放流ネット及びデフュージョン チャンバーの回収、生物採集・採水を行った。
1361	6月9日	24°51.50'N 123°50.50'E	1492m	藤原 義弘	海洋科学技術センター	観察しながら航走し、化学進化セットの設 置及び放流ネットの回収を行った。
1362	6月10日	24°51.50'N 123°50.50'E	1506m	Laszlo G Toth	静岡大学	観察しながら航走し、生物採集及び放流ネ ットの回収を行った。
1363	6月13日	24°08.00'N 124°11.50'E	654m	松本 良	東京大学	観察しながら航走し、採水・採泥・生物採集 及び岩石採取を行った。
1364	6月14日	24°08.00'N 124°11.50'E	642m	牧 陽之助	岩手大学	観察しながら航走し、採泥及び生物採集を 行った。
1365	6月21日	24°08.00'N 124°11.50'E	640m	町山 栄章	海洋科学技術センター	ガスハイドレートの分解イベントとそれに 伴う冷湧水形成・循環プロセスの解明
1366	6月22日	24°08.00'N 124°11.50'E	632m	岩瀬 良一	海洋科学技術センター	ガスハイドレートの分解イベントとそれに 伴う冷湧水形成・循環プロセスの解明
1367	6月23日	24°08.00'N 124°11.50'E	638m	Kevin M.Brown	スクリップス研究所	ガスハイドレートの分解イベントとそれに 伴う冷湧水形成・循環プロセスの解明
1368	6月24日	24°08.00'N 124°11.50'E	640m	町山 栄章	海洋科学技術センター	ガスハイドレートの分解イベントとそれに 伴う冷湧水形成・循環プロセスの解明
1369	6月28日	24°51.50'N 123°50.50'E	1473m	山本 啓之	聖マリアン医科大学	化学合成生態系における生物生産力の定量 化研究
1370	6月30日	24°08.00'N 124°11.50'E	641m	宮崎 淳一	筑波大学	化学合成生態系における生物生産力の定量 化研究
1371	7月1日	24°51.50'N 123°50.50'E	1522m	石橋純一郎	九州大学	化学合成生態系における生物生産力の定量 化研究
1372	7月27日	34°22.00'N 137°39.50'E	1193m	荒井 晃作	産業技術総合研究所	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究
1373	7月28日	34°23.00'N 137°41.50'E	1134m	倉本 真一	産業技術総合研究所	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究
1374	7月29日	34°22.00'N 137°39.50'E	1182m	荒井 晃作	産業技術総合研究所	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究

通算 潜航	潜航 年月日	潜航地点	着底 深度	潜航観察者	所 属	潜 航 目 的
1375	8月6日	33°56.50'N 136°55.00'E	1117m	岩 渕 洋	海上保安庁水路部	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究
1376	8月7日	33°51.00'N 137°22.00'E	1160m	芦 寿一郎	東京大学海洋研究所	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究
1377	8月8日	34°04.00'N 137°47.50'E	692m	倉本 真一	産業技術総合研究所	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究
1378	8月9日	33°51.50'N 137°22.50'E	1055m	芦 寿一郎	東京大学海洋研究所	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究
1379	8月10日	33°56.50'N 136°49.00'E	1219m	岩 渕 洋	海上保安庁水路部	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究
1380	8月31日	28°34.30'N 140°38.50'E	1387m	木下 正高	海洋科学技術センター	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系 環境解明のための潜水船総合観測
1381	9月5日	28°34.30'N 140°38.50'E	1385m	砂村 倫成	産業技術総合研究所	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系 環境解明のための潜水船総合観測
1382	9月6日	28°34.30'N 140°38.50'E	1385m	内海 真生	筑波大学	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系 環境解明のための潜水船総合観測
1383	9月7日	28°34.30'N 140°38.50'E	1386m	板橋 志保	東京薬科大学	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系 環境解明のための潜水船総合観測
1384	9月8日	28°34.30'N 140°38.50'E	1385m	桑原 朋彦	筑波大学	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系 環境解明のための潜水船総合観測
1385	9月10日	28°34.30'N 140°38.50'E	1384m	山中 寿朗	九州大学	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系 環境解明のための潜水船総合観測
1386	9月11日	28°34.30'N 140°38.50'E	1383m	内海 真生	筑波大学	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系 環境解明のための潜水船総合観測
1387	9月12日	28°34.30'N 140°38.50'E	1387m	山中 寿朗	九州大学	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系 環境解明のための潜水船総合観測
1388	9月14日	28°34.30'N 140°38.50'E	1385m	砂村 倫成	産業技術総合研究所	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系 環境解明のための潜水船総合観測
1389	9月15日	28°34.30'N 140°38.50'E	1387m	内海 真生	筑波大学	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系 環境解明のための潜水船総合観測
1390	9月16日	28°34.30'N 140°38.50'E	1386m	内海 真生	筑波大学	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系 環境解明のための潜水船総合観測
1391	10月5日	31°28.00'N 140°05.10'E	915m	田村 芳彦	海洋科学技術センター	伊豆・小笠原海洋性島弧の形成過程とマグ マ組成の研究
1392	10月7日	31°28.70'N 140°02.30'E	966m	宿野 浩司	海洋科学技術センター	伊豆・小笠原海洋性島弧の形成過程とマグ マ組成の研究
1393	10月8日	31°30.20'N 140°02.80'E	902m	入野 直子	海洋科学技術センター	伊豆・小笠原海洋性島弧の形成過程とマグ マ組成の研究
1394	10月10日	31°28.10'N 140°04.00'E	943m	谷 健一郎	海洋科学技術センター	伊豆・小笠原海洋性島弧の形成過程とマグ マ組成の研究
1395	10月13日	35°00.23'N 139°13.59'E	1158m	吉村 英恭	明治大学	現場環境保存型捕獲器を用い深海生物を実 験室まで輸送し組織培養方法を確立する研究
1396	10月14日	35°00.85'N 139°21.70'E	1450m	北里 洋	海洋科学技術センター	海洋の堆積物—水境界における深海底生生 物の活動と堆積物の形成過程の研究
1397	10月15日	35°00.23'N 139°13.59'E	1176m	石川 陽一	エイブル株式会社	現場環境保存型捕獲器を用い深海生物を実 験室まで輸送し組織培養方法を確立する研究
1398	10月16日	35°00.85'N 139°21.70'E	1449m	Petra Heinz	チュービンゲン大学	海洋の堆積物—水境界における深海底生生 物の活動と堆積物の形成過程の研究

通算 潜航	潜航 年月日	潜航地点	着底 深度	潜航観察者	所 属	潜航目的
1399	10月26日	35°00.23'N 139°13.59'E	1177m	渡邊 淳	文部科学省	体験乗船潜航
1400	10月27日	35°00.23'N 139°13.50'E	1207m	内田 昌男	海洋科学技術センター	堆積物並びにシロウリガイからの 生物有機分子の探索
1401	10月29日	35°00.23'N 139°13.59'E	1164m	青木 美澄	日本海洋事業（株）	潜水船の「五月蠅さ」と生物への 影響の観察
1402	10月31日	35°00.23'N 139°13.59'E	1164m	小西 聡史	海洋科学技術センター	深海生物の走光特性の可能性と解析研究
1403	11月1日	35°00.23'N 139°13.59'E	1194m	石黒 雄一	神奈川県水産総合研究所	体験乗船潜航
1404	11月2日	35°00.23'N 139°13.59'E	1184m	大島 弘義	中日新聞	取材潜航
1405	11月3日	35°00.23'N 139°13.59'E	1200m	山根 一眞	山根事務所	体験乗船潜航
1406	11月5日	35°00.23'N 139°13.59'E	1197m	飯山 繁	長井町漁業協同組合	体験乗船潜航
1407	11月6日	35°00.85'N 139°21.70'E	1449m	野中ともよ	ティーオーエムファクトリー	体験乗船潜航
1408	11月7日	35°00.85'N 139°21.70'E	1448m	原田 稔也	映像館	取材潜航
1409	11月9日	32°00.23'N 139°13.59'E		喜多村 稔	海洋科学技術センター	中深層におけるクラゲ類の観察
1410	11月10日	35°00.23'N 139°13.59'E	1183m	鈴木 義享	初島漁業協同組合	体験乗船潜航
1411	11月11日	35°00.23'N 139°13.59'E	1200m	大関久美子	海洋科学技術センター	潜水船の費用対効果分析と観測結果の 定量化の試み